※令和３年度以前入学生用

学校番号	3013

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界の歴史（山川出版社）						
副教材等	プロムナード世界史（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶ意義を理解する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけて考える。

２　学習の到達目標

・文献、地図、統計など様々な資料を活用し、歴史的思考力を培う。
・現代社会の諸課題を、近現代の日本や世界の動きと結びつけ、歴史的観点に立って考察する。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけて理解し、国際社会で主体的に生きる姿勢をもつ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 ノート レポート	定期考査 ノート レポート 発表	定期考査 ノート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アジア史	・東アジア世界Ⅰ ・東アジア世界Ⅱ ・明代の東アジア ・清代の東アジア	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:中国の政治の変化に対する関心を高め、人間社会の形成を歴史的観点から探求しようとしている。 b:中国の王朝の政策について、地域世界相互の交流を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中国の政策とその交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート レポート
2学期	西洋史	・古代地中海世界 ・ヨーロッパ世界	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ヨーロッパ世界の形成に対する関心を高め、人間社会の形成を、歴史的観点から探求しようとしている。 b:ヨーロッパ世界の形成について、地域世界相互の交流と関連づけながら多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ヨーロッパ世界とその交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート レポート
3学期	近現代史	・帝国主義の国際対立 ・2 つの世界大戦 ・冷戦から現代世界	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:近現代に対する関心を高め、現代世界につながる地球世界の課題を、歴史的観点から探求しようとしている。 b:帝国主義の国際対立の構造をその後の世界大戦・冷戦の発生と関連づけながら多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:帝国主義から世界大戦・冷戦とその影響に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界大戦・冷戦の特質を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※令和３年度以前入学生用

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。